

都 市 計 画 部
まちづくり政策課

滞留者数 1.6 倍増！車線数減による駅周辺交通への影響なし 「OPEN NUMAZU」の実施成果

直通 055-934-4760

沼津市とUR都市機構中部支社との共催により、4月に沼津駅イーラ de 前で実施した社会実験「OPEN NUMAZU」の成果を取りまとめました。

■社会実験の目的

- ① 街路空間の新たな使い方を試行し、来訪者の行動変容を把握
- ② 市民のまちの変化に対する期待及び周辺事業者の公共空間利活用に対する機運の醸成
- ③ 駅前街路の再編(車線数減少)による周辺交通への影響の確認

■社会実験の成果

① 来訪者の行動変容について

- ・実施エリア周辺の滞留者数：社会実験実施前に比べ、約**1.6倍**に増加

※滞留者数:座っている人、立ち止まっている人(歩いている人を除く。)

- ・3週間の実験期間を通じ、学生などの利用も増加し、**利用者全体の行動が多様化**(※)

※実験当初の飲食などの利用から、友人同士の語らいや社会人のPC作業、学生の勉強等「日常」の風景へ

② 市民のまちの変化に対する期待などについて

- ・くつろぎ空間利用者の**70%以上**が「居心地が良い」、**90%以上**が「また利用したい」と回答
(車道上に開設した「くつろぎ空間」利用に関するアンケート調査から)

- ・出店事業者の**85%以上**が「満足」、今後のヒト中心のまちづくりに関する取組についても約**80%**が「期待できる」と回答

(社会実験出店事業者 14 店舗アンケート調査から)

- ・広報について、フェイスブックでは約**5万人**、Instagramでは約**3.6万人**が閲覧

③ 駅前街路の再編による周辺交通への影響について

- ・車線数減少による駅周辺交通への**大きな影響はなし**(※)

※駅周辺の交差点における滞留長が、社会実験実施前を大幅に上回ることにはなかった。

■課題と今後の取り組み

今回の社会実験を通じ、歩行者と自転車利用者との利用空間のすみ分け、更なる滞留につながる空間・仕組みづくり、市民等への周知方法などの課題も見られたことから、引き続き、社会実験などの試行的取組を積み重ねながら、ヒト中心のまちづくりを推進していきます。

秋頃に、中心市街地商店街等の公共空間を活用した社会実験を実施予定



ヒト中心のまちなかをつくるプロジェクト

! OPEN ! NUMAZU



「社会実験」のコンセプト

- これから続く社会実験のタイトルを「OPEN NUMAZU」として統一し、実施を積み重ねることで、まちの変化を市民に分かりやすく示していきます。
- 「OPEN NUMAZU」は公共空間をひらくことで見える未来の沼津のまちなかの風景を「日常」へとつなげる実験的な取り組みです。空間をひらくことだけでなく、暮らしの余白を広げ、ひとりひとりが日常を豊かにするためのアクションを起こすことで、未来のまちなかへの実現を目指します。

! OPEN!
NUMAZU

2022 年 4 月の実施概要



公共空間再編整備計画で示した「OPEN NUMAZU」の名のもとに、まちなかの公共空間を広く開いて活用することとあわせて、人の気持ちもまちに開いていくために、“あったらいいな”と思える日常の風景や居心地の良い空間づくりを行う社会実験。

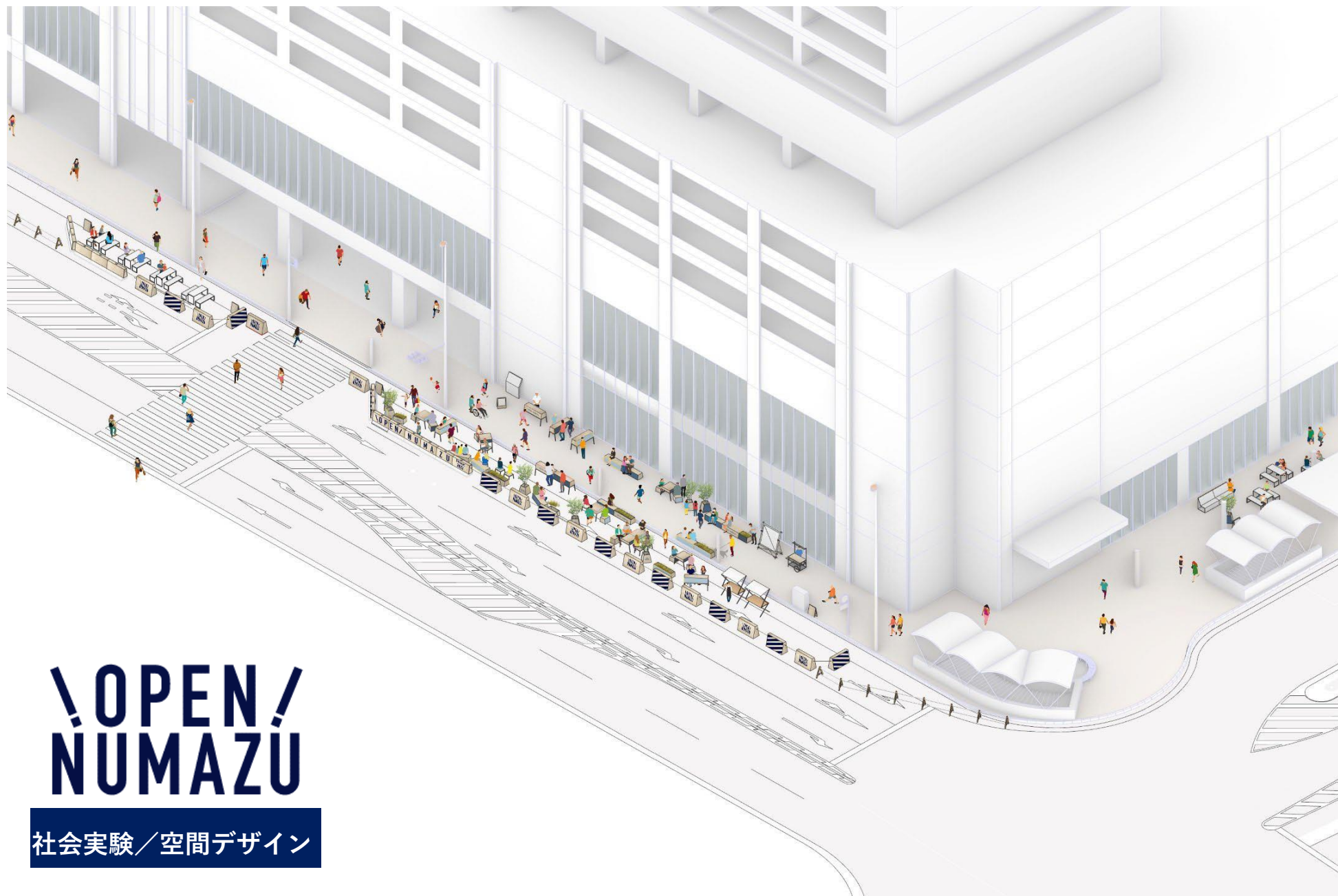
【期 間】

令和4年4月6日（水）～ 4月26日（火）の21日間
（荒天により最終日を1日繰上げ）

【内 容】

誰でも自由に使える可動式のイス・テーブル等を配置し、ロゴとキーカラーによる統一されたデザインのもと、くつろぎの空間を創出。

居心地よく過ごすための付随コンテンツとして、日常に寄り添った店舗（14店舗）の出店を実施。



**OPEN/
NUMAZU**

社会実験／空間デザイン

実施状況

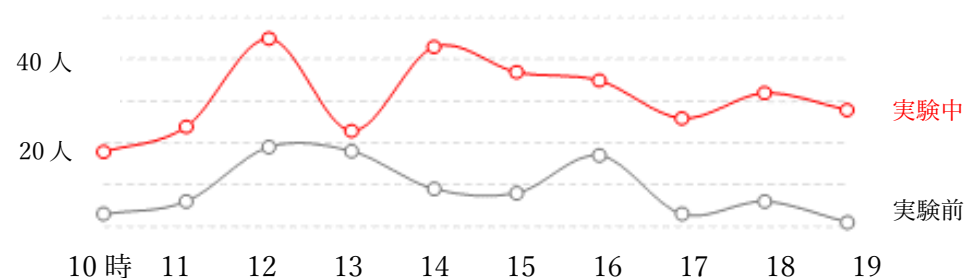
①来訪者の行動変容について

○実施エリア周辺の滞留者数

社会実験前に比べ、休日は約 1.6 倍に増加：74 回(B)／46 回(A) ≒ 約 1.6 倍

社会実験前 3月19日(土) 晴れ	
座っている人	平均 9人／回
立ち止まっている人	平均 37人／回
合 計	平均 46人／回 (A)
社会実験中 4月23日(土) 晴れ	
座っている人	平均 31人／回
立ち止まっている人	平均 43人／回
合 計	平均 74人／回 (B)

座っている人の時間帯別人数（休日）



※滞留者等の分布及び行動を記録。1エリアあたり10回(1時間ごと)観測した平均値



【凡例】

- 座っている
- △ 立っている

- 話している
- 飲食している
- 楽しむ（買い物/遊び/写真撮影など）
- 休憩（荷物整理/居眠りなど）
- 道に迷っている様子
- 喫煙
- その他（信号・バス待ち/スマホ など）

○3週間の社会実験期間を通じ、学生などの利用も増加し、利用者全体の行動が多様化

□学生等の増加(右の表:利用者属性「未成年」)

平日 : 9% ⇒ 14%

休日 : 13% ⇒ 22%

□利用者全体の行動変容(右の表:アクティビティ)

平日「楽しむ・その他」 : 40% ⇒ 56%

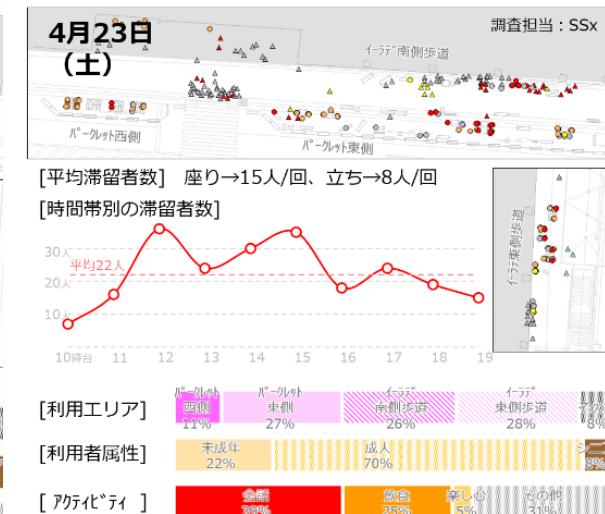
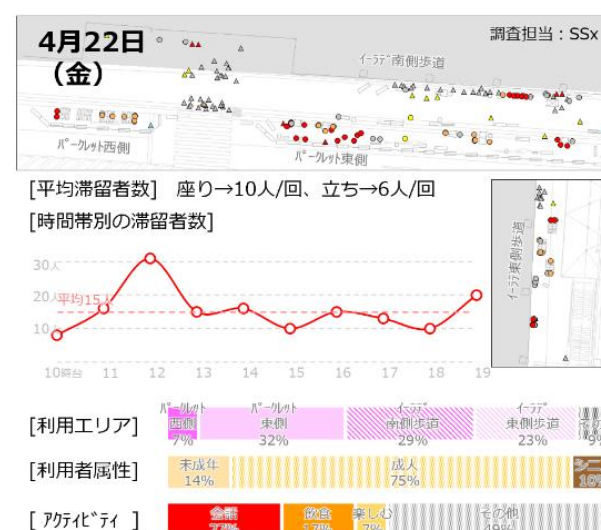
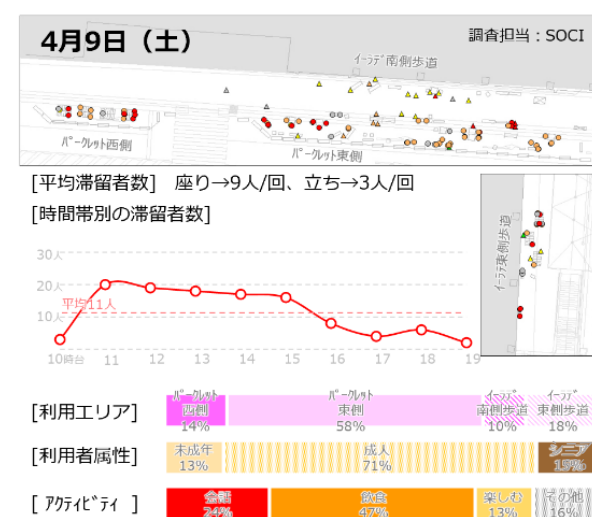
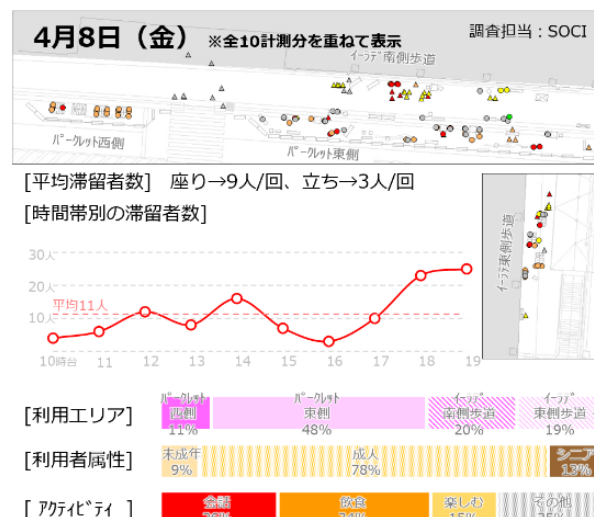
休日「会話」 : 24% ⇒ 39%

「楽しむ・その他」 : 29% ⇒ 36%

楽しむ・その他:社会人のPC作業、学生の勉強、読書、スマホなど

社会実験開始当初		
4月8日(金)	平日	晴れのち曇り
利用者属性	未成年:9%、成人:78%、シニア:13%	
利用者行動	会話:26%、飲食:34%、楽しむ・その他:40%	
4月9日(土)	休日	晴れ
利用者属性	未成年:13%、成年:71%、シニア:16%	
利用者行動	会話24%、飲食47%、楽しむ・その他:29%	

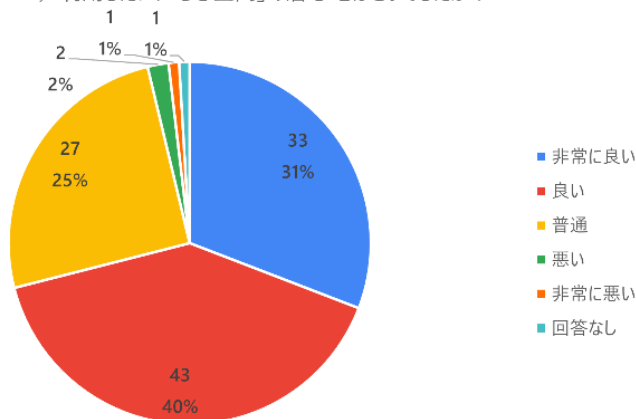
社会実験後半		
4月22日(金)	平日	晴れ
利用者属性	未成年:14%、成年:75%、シニア:11%	
利用者行動	会話27%、飲食17%、楽しむ・その他:56%	
4月23日(土)	休日	晴れ
利用者属性	未成年:22%、成年:70%、シニア:8%	
利用者行動	会話39%、飲食25%、楽しむ・その他:36%	



②市民のまちの変化に対する期待などについて

○「くつろぎ空間」の居心地は 70%以上の方が「非常に良い」「良い」、90%以上の方が「また利用したい」と回答（回答総数：107 人）

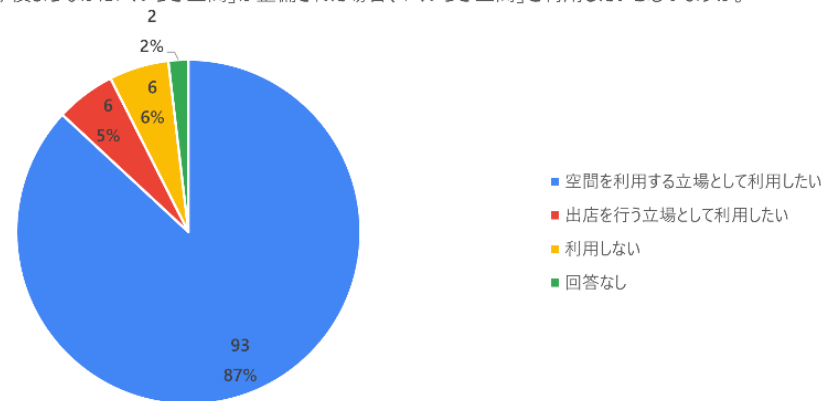
8) 利用した「くつろぎ空間」の居心地はどうか？



【居心地や過ごしやすさに対する自由意見】

- 空間が開かれていて心地よい
- 公共空間で過ごす時間はまちの動きを感じられて良かった
- 車ではなく徒歩や自転車で楽しめる日常の過ごし方を探していたので、とても感謝しています。（中略）治安や活気の面からみても、人の気配を感じるこのようなスペースは、観光客のためじゃなく地元の人に沿っているいいのと、近隣自治体からみたら羨ましいです。
- 色々な年代の人が居て、安心して利用できた。
- 沼津には人が気軽に座って話をしたり、ゆっくりできたりする空間が少ないと感じていたので、OPEN NUMAZU の空間は人が気軽に集まって、とても良い空間になっていたと思います。学生さんたちは特にすることがなくても、座って話せる場所があるのはうれしいので、こういった空間が常にあると沢山の人が集まって、沼津が盛り上がると思います。

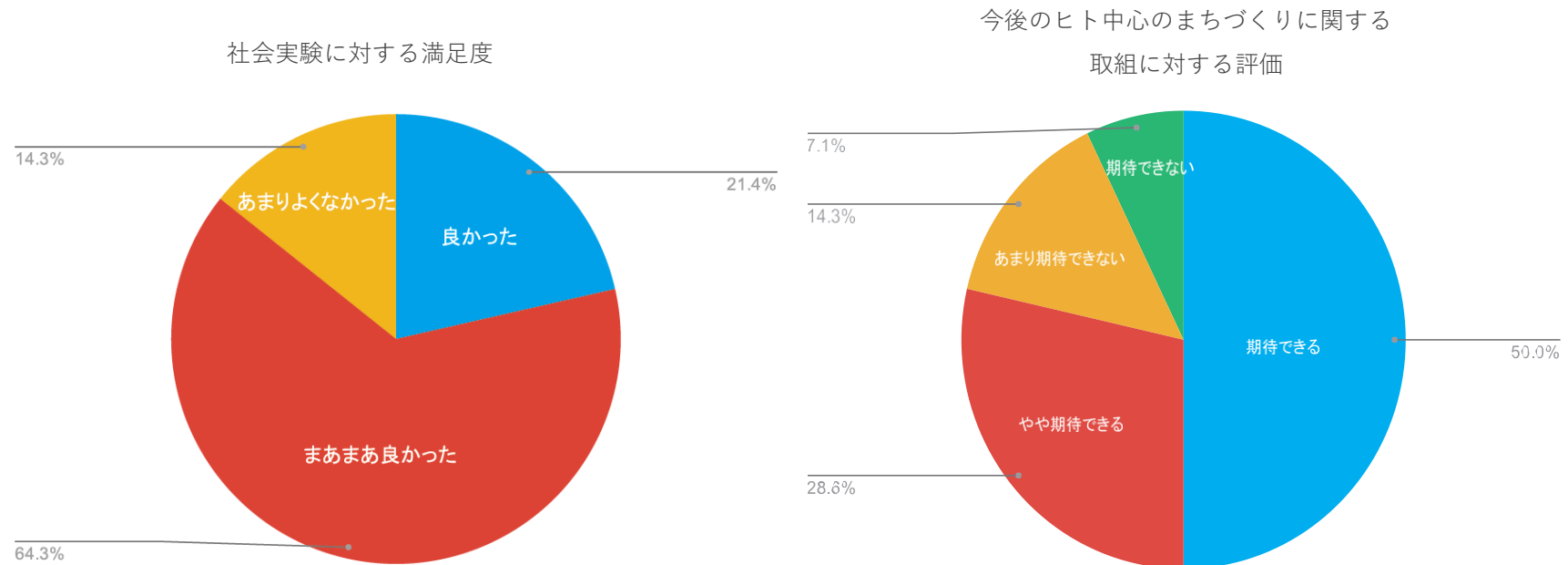
1 1) 今後まちなかに「くつろぎ空間」が整備された場合、「くつろぎ空間」を利用したいと思いますか。



【社会実験・取組自体に対する自由意見】

- 正直驚き感動でした。お勤めをしていたので、平日の沼津を歩いたことがなかったが、こんな癒し空間に、素敵な家具が並べられて、美味しいコーヒーがあり、来て良かったです。（一部抜粋）
- たいへん有益な試みだと思います。沼津に来るのは月に1回くらいですが、毎回やっているといいなと思います。
- 社会実験として、面白い取り組みだと思った。沼津駅前に更に人が集まりやすくなる取り組みだと思ったし、店員さんの対応含め一日の QOL を上げるものだと思った。（一部抜粋）
- コロナでなかなか出かけられない中、ちょっといつもと違う場所で食事ができて、気持ちよかったです。（一部抜粋）
- 車道の一部を規制し、くつろぎ空間にしたことはとてもよい取り組みであると感じました。

○出店事業者の 85%以上が「満足」、今後のヒト中心のまちづくりに関する取組についても約 80%が「期待できる」と回答



社会実験出店事業者 14 店舗アンケート

〈店舗内訳：コーヒー（4）、ランチ・パン（3）、菓子等（3）、アルコール（2）、美容（1）、種苗（1）〉

○社会実験実施期間中にいただいたその他ご意見ご提案など

- 自転車が車道を走行しづらくなっている。
- イーラ de 前に自家用車を横付けすることができなくなり不便である。
- 雨を避けることができる簡易的な屋根や日差しを遮るパラソルなどが必要。
- 車道のすぐ横で社会実験を実施していることに不安を覚えるため、車道との境に草花や樹木などをある程度の高さまで出して設置し、空間を区切ることができれば、よりくつろげると思う。
- 市内に公園が複数あるなか、わざわざ車線をつぶして実施する必要があるのか。仲見世などの商店街で実施すべきではないのか。
- Wi-Fi があるとより活用の幅が広がると感じた。

○広報について、フェイスブックでは約5万人、インスタグラムでは約 3.6 万人が閲覧
SNS を活用した市民等への周知とその効果

リーチ

Facebookページのリーチ ①

50,161 ↑ 100%



Instagramのリーチ ①

36,837 ↑ 100%



※リーチ数：いずれかの投稿またはストーリーズを最低 1 回見たユニークアカウントの数

投稿リーチ数：1193



4月5日 19:48

実験前日のオープン告知

投稿リーチ数：1117



4月6日 0:23

深夜工事後の設置状況投稿

投稿リーチ数：1108



3月26日 18:00

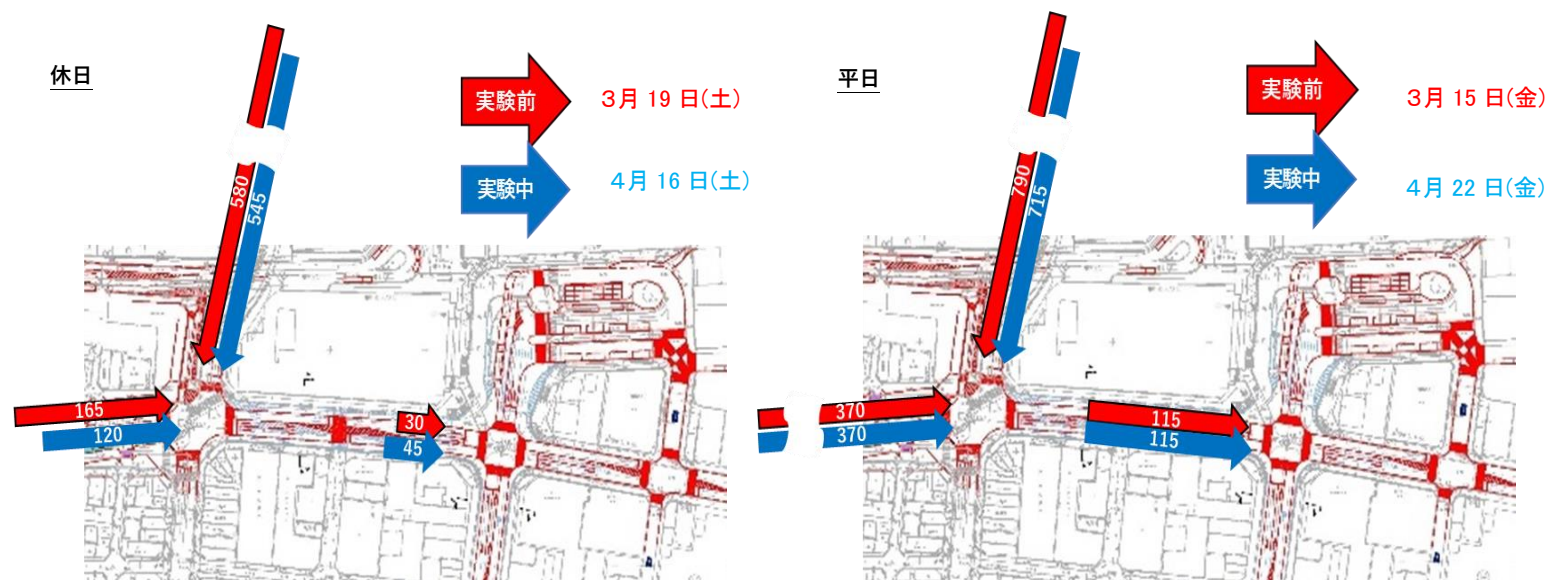
出店者紹介時の投稿

③駅前街路の再編による周辺交通への影響について

○車線数減少による駅周辺交通への大きな影響はなし

【社会実験前・社会実験中の滞留長比較】

各調査地点での最大値は多くの場所で変わらず、沼津駅南口交差点西側(社会実験前)で左折滞留長が若干伸びたが、交通渋滞を引き起こすほどではなく、大きな影響はないものと考えられる



滞留長: 信号機のある交差点において、1回の赤信号で滞留する車列の長さ













